

2020年度上期決算説明会

代表取締役社長 志藤 健

YOROZU

株式会社 ヨロズ

東京証券取引所市場第1部 (証券コード: 7294)

目次

- I. 2020年度上期業績
- II. 稼働状況及び需要動向
- III. 2020年度通期予想
- IV. 最近の状況
- V. 株主還元

I. 2020年度上期業績

II. 稼働状況及び需要動向

III. 2020年度通期予想

IV. 最近の状況

V. 株主還元

2020年度上期連結決算概要 (前年同期比)

単位：百万円

	2019年度 上期	2020年度 上期	増減額 (前年同期比)	2020年度 上期予想(前回) ※2	増減額 (予想比)
売上高	78,204	43,930	(△43.8%) △34,274	44,000	(△0.2%) △70
営業利益	264	△4,160	△4,424	△4,700	+540
経常利益	△432	△3,615	△3,183	△4,200	+585
当期純利益※1	△832	△3,234	△2,402	△4,000	+766
	2019年度上期 A	2020年度上期 B	増減額 B - A	増減率	
一株当たり当期純利益	△35円04銭	△135円40銭	△100円36銭	—%	
連結取り込みレート	110円06銭 / \$	108円23銭 / \$	△1円83銭 / \$	△1.7%	

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 2020年8月7日(1Q)開示予想値

売上高 : 新型コロナウイルス感染症(新型コロナ)影響により大幅減収
 営業利益 : 収益改善活動継続も、新型コロナでの生産大幅減少分補えず営業損失
 経常利益 : 雇調金収入に加え、為替差損から為替差益に転じたことなどにより損失額縮小
 当期純利益 : コロナ特損※3あるも法人税マイナス(税効果)、非支配損失により損失額縮小

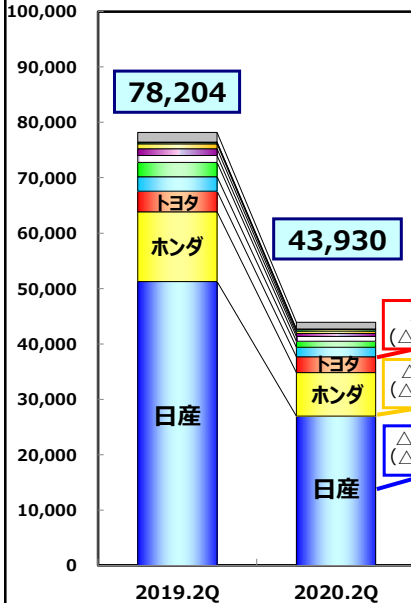
※3 新型コロナウイルス感染症関連損失

連結得意先別売上高 (19年上期 対 20年上期)

YOROZU

単位：百万円

単位：百万円



得意先	2019.2Q	(%)	2020.2Q	(%)
日産 Gr ※	51,284	65.6%	26,996	61.5%
ホンダ Gr	12,593	16.1%	7,857	17.9%
トヨタ Gr	3,723	4.8%	2,856	6.5%
いすゞ	2,605	3.3%	1,710	3.9%
マツダ	2,587	3.3%	1,091	2.5%
クボタ	1,248	1.6%	873	2.0%
VW	1,224	1.6%	530	1.2%
スズキ	883	1.1%	417	0.9%
Daimler	275	0.4%	361	0.8%
GM Gr	30	0.0%	26	0.1%
その他	1,752	2.2%	1,213	2.7%
合計	78,204	100.0%	43,930	100.0%

※ ルノー向け売上含む

新型コロナ：全得意先で生産減少により大幅減収

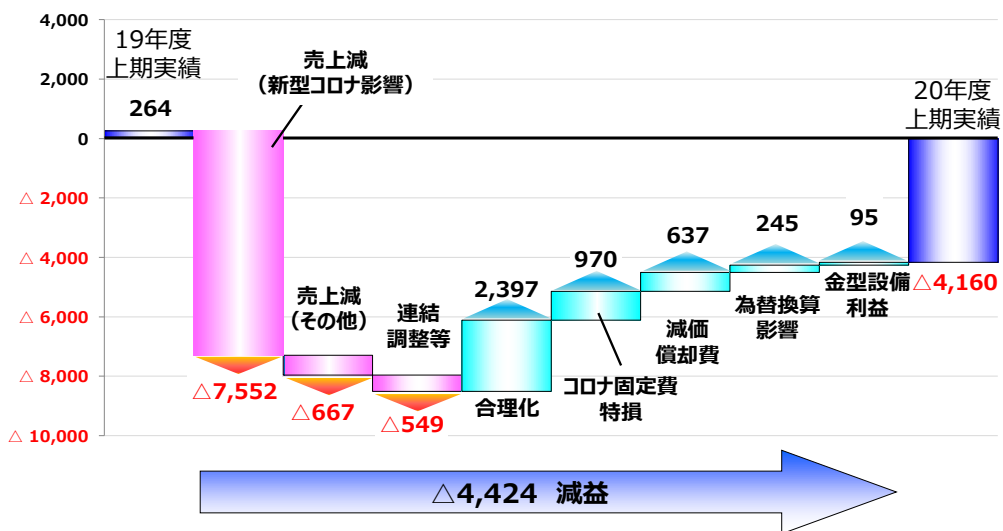
© YOROZU CORPORATION, 2020 All Rights Reserved.

5

連結営業利益の増減要因分析 (19年上期 対 20年上期)

YOROZU

単位：百万円

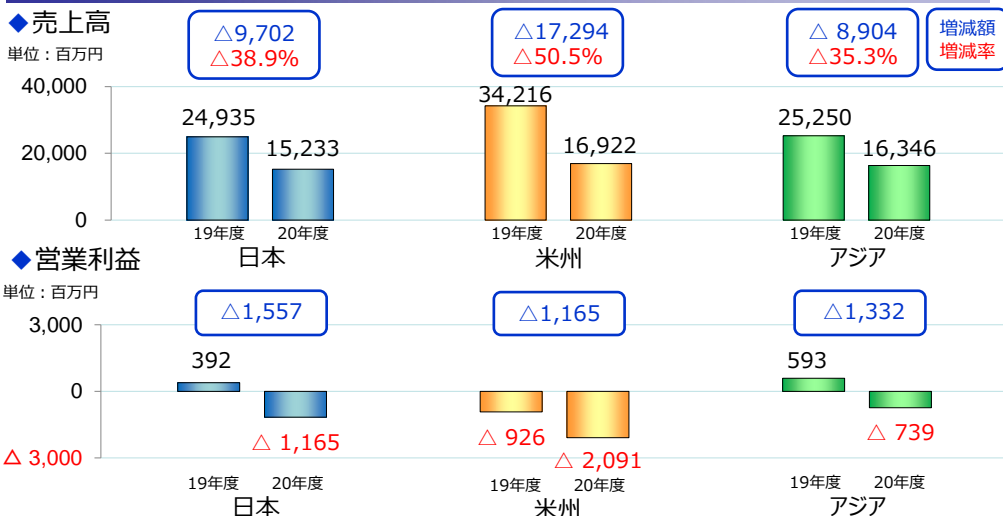


新型コロナの影響に伴う大幅な売上減少により損失
 コロナ禍でも緊急収益改善を柱とした合理化は着実に積み上げ

© YOROZU CORPORATION, 2020 All Rights Reserved.

6

地域別(連結調整前)売上高・営業利益(19年上期 対 20年上期) YOROZU



グローバルで新型コロナの影響直撃、日本・米州・アジアで営業損失
 日本：各得意先大幅生産縮小により減収・さらに海外からのロイヤリティ収入減も影響
 米州：米国・メキシコ・ブラジルの得意先休業・生産縮小により大幅な減収
 アジア：中国での1Q操業停止、インドロックダウン、タイ・インドネシアでの生産縮小により大幅な減収

© YOROZU CORPORATION. 2020 All Rights Reserved.

連結貸借対照表の概要 2020年9月期 YOROZU

単位：百万円

	2020年3月末	2020年9月末	増減	
流動資産	58,386	49,735	△8,651	現預金 +2,599
固定資産	81,313	76,841	△4,472	受取手形及び売掛金 △9,538
資産合計	139,700	126,577	△13,123	電子記録債権 △769
流動負債	37,550	36,192	△1,358	棚卸資産 △748
固定負債	27,598	23,638	△3,960	有形固定資産 △5,672
負債合計	65,149	59,830	△5,319	仕入債務 △3,168
株主資本	67,677	64,322	△3,355	四半期純損失 △3,234
その他の包括利益累計額	△8,068	△10,580	△2,512	配当支払 △309
非支配株主持分他	14,941	13,003	△1,938	評価差額金 +581
純資産合計	74,550	66,746	△7,804	為替換算調整勘定 △3,083
負債・純資産合計	139,700	126,577	△13,123	

コロナ禍で各資産・負債が縮小する中、手元流動性は着実に確保

© YOROZU CORPORATION. 2020 All Rights Reserved.

8

I. 2020年度上期業績

II. 稼働状況及び需要動向

III. 2020年度通期予想

IV. 最近の状況

V. 株主還元

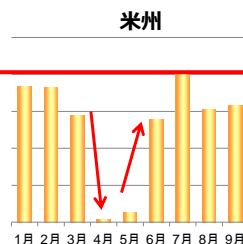
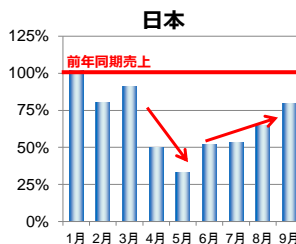
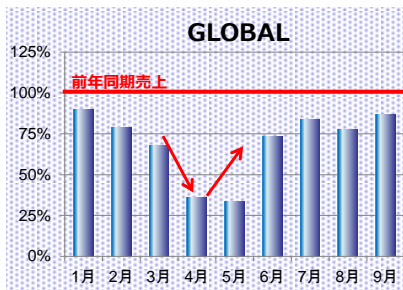
主な生産拠点(国)における稼働状況

拠点	決算期	稼働状況								当社操業体制	
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
日本	3月			稼働					稼働	3月下旬より得意先の状況に合わせて、休業またはライン縮小操業	
米国	12月		休業	稼働	稼働					3月23日～5月10日 休業 その後得意先の状況に応じた対応	
メキシコ	12月		休業	稼働	稼働					3月30日～5月31日 休業 その後得意先の状況に応じた対応	
ブラジル	3月		休業	稼働	稼働					3月25日～5月17日 休業 その後得意先の状況に応じた対応	
タイ	12月			稼働					稼働	4月上旬より得意先の状況に合わせて、休業またはライン縮小操業	
インド	3月		休業	稼働	稼働					3月24日～5月10日 休業 その後得意先の状況に応じた対応	
インドネシア	3月			休業	稼働					稼働	4月10日～6月1日 休業 その後得意先の状況に応じた対応
中国	12月	広州	休業	稼働	稼働					広州2月5～16日休業、 武漢2月5～3月10日休業 現時点通常稼働	
		武漢	休業	稼働	稼働						

 休業
  休業または一部操業
  通常操業

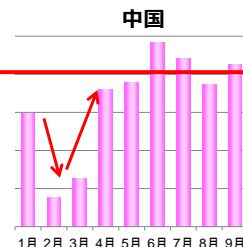
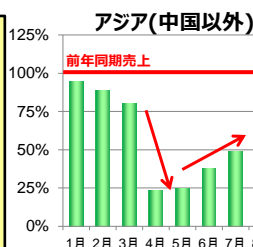
コロナ拡大を受けた需要動向

地域別の売上（部品）動向推移（為替影響除き、前年同期を100%）



上期：新型コロナで大幅な生産減少
 ・中国：2～3月
 ・米州：4～5月
 ・日本・アジア：4～6月

下期：中国では前年同期を上回る回復
 他の地域でも前年レベルにはないものの
上期比では回復の傾向



I. 2020年度上期業績

II. 稼働状況及び需要動向

III. 2020年度通期予想

IV. 最近の状況

V. 株主還元

2020年度連結業績予想の概要

YOROZU

◆ 損益の状況 (前期比)

単位：百万円

	2019年度実績	2020年度予想	増減額 (前期比)	2020年度 通期予想(前回) ※2	増減額
売上高	157,680	115,000	(△27.1%) △42,680	107,000	+8,000
営業利益	2,206	△2,700	△4,906	△4,700	+2,000
経常利益	770	△1,900	△2,670	△4,200	+2,300
当期純利益※1	△12,933	△2,500	+10,433	△4,000	+1,500

	2019年度実績	2020年度予想	増減額	増減率
一株当たり当期純利益	△544円05銭	△104円54銭	+439円51銭	+80.8%
連結取り込みレート	109円03銭/\$	106円00銭/\$	△3円03銭/\$	△2.8%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益
 ※2 2020年8月7日開示予想値

新型コロナ影響ある中、

売上高 : 前期比27%減 (←上期43.8%減) も中国では増収、米州 日本では回復が進む見込み

営業利益 : 営業損失脱せずも、上期の上振れ+下期売上上振れ+緊急収益改善積上げにより、
 損失額は減少見込み (下期は黒転)

前回予想値からは上方修正

© YOROZU CORPORATION. 2020 All Rights Reserved.

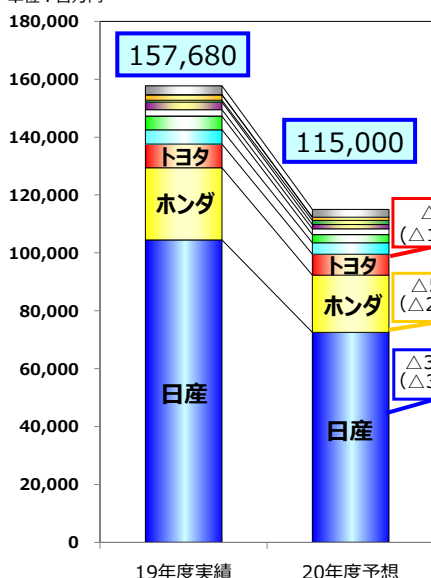
13

連結得意先別売上高 (19年実績 対 20年予想)

YOROZU

単位：百万円

単位：百万円



得意先	19年度実績 (%)	20年度予想 (%)
日産 Gr ※	66.2%	63.1%
ホンダ Gr	15.8%	17.2%
トヨタ Gr	5.2%	6.3%
いすゞ	3.1%	3.4%
マツダ	3.0%	2.4%
クボタ	1.4%	1.8%
VW	1.6%	1.3%
Daimler	0.4%	1.2%
スズキ	1.2%	0.9%
GM Gr	0.1%	0.0%
その他	2.0%	2.4%
合計	100.0%	100.0%

※ ルノー向け売上含む

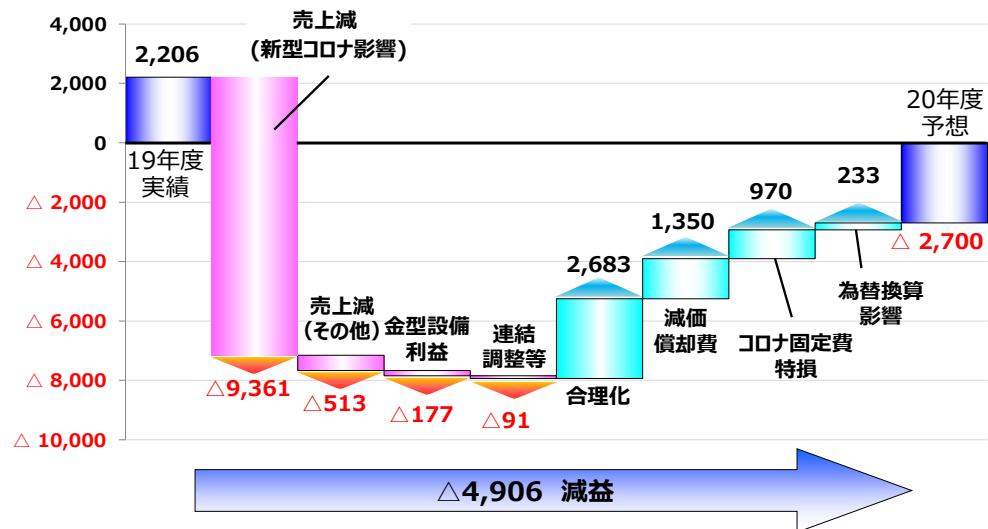
減収見込みも得意先ごとで回復度合い違つ中
 上期より回復の傾向

© YOROZU CORPORATION. 2020 All Rights Reserved.

14

連結営業利益の増減要因分析 (19年実績 対 20年予想) YOR/ZU

単位：百万円

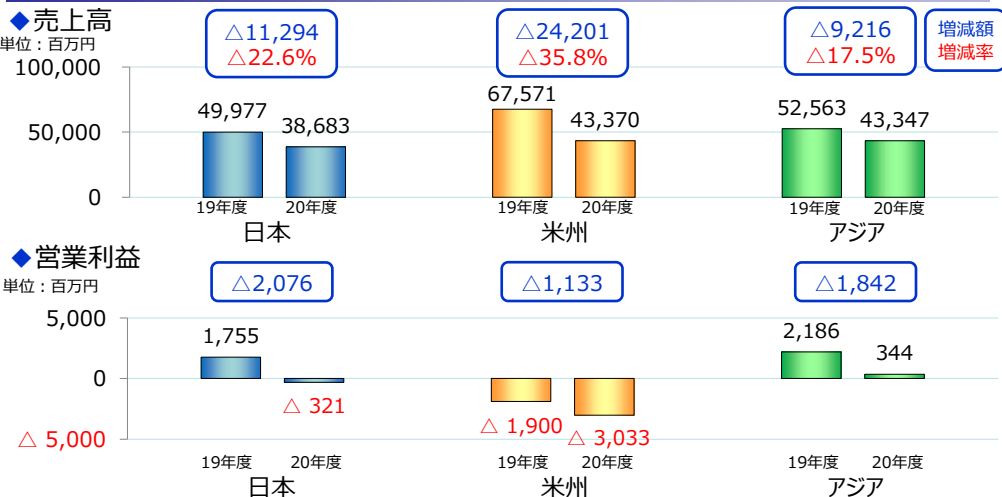


新型コロナの影響に伴う大幅な売上減少により損失見込み変わらず。
緊急収益改善で合理化継続し損失は上期より減少の見込み (下期黒転)

© YOROZU CORPORATION. 2020 All Rights Reserved.

15

地域別(連結調整前)売上高・営業利益 (19年実績 対 20年予想) YOR/ZU



前期比新型コロナ影響により全セグメント減収・減益見込みも上期・前回予想比では改善傾向
 日本：部品売上・ロイヤリティ収入減少で損失見込みも合理化により損失は大幅縮小傾向
 米州：客先の回復・メキシコでの改善により前回予想比からは損失縮小の見込み
 アジア：中国での下期急回復により減益も黒字転換の見込み

© YOROZU CORPORATION. 2020 All Rights Reserved.

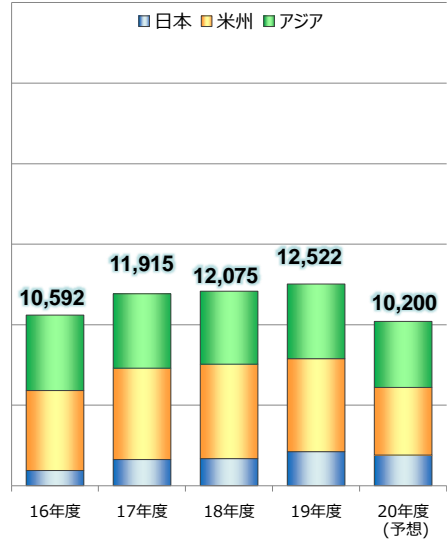
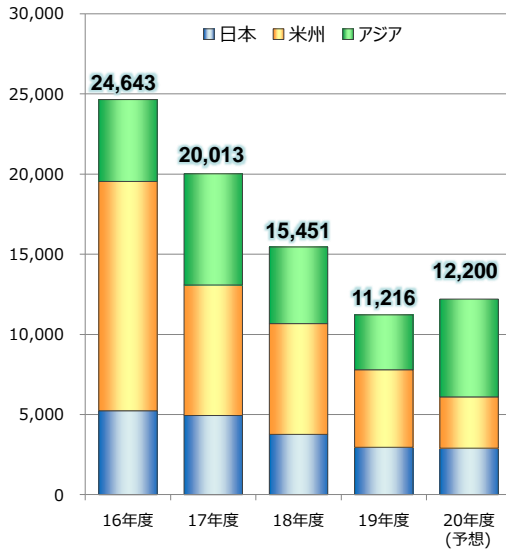
16

設備投資と減価償却費

地域別設備投資

地域別減価償却費

単位：百万円



© YOROZU CORPORATION. 2020 All Rights Reserved.

I. 2020年度上期業績

II. 稼働状況及び需要動向

III. 2020年度通期予想

IV. 最近の状況

V. 株主還元

© YOROZU CORPORATION. 2020 All Rights Reserved.

緊急収益改善

昨今の当社を取り巻く影響

- ・米中貿易摩擦影響（19年下期～）
- ・新型コロナによる売上減少影響(20年期初～)
- ・主要得意先台数の状況注視

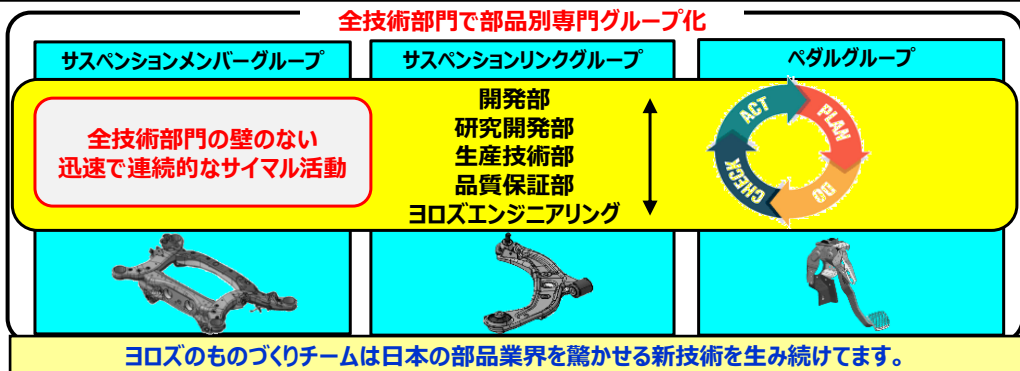


この状況を受けヨロズは、 収益改善の取り組み：全社一丸

- ✓ 2019年度実施の「緊急収益改善活動」を更に強化
 - ・2シフトから1シフト化による効率的な生産体制（コスト改善）
 - ・休業や在宅勤務化による効率化（通勤費、残業抑制）
 - ・役員報酬カット
 - ・「買わない、使わない」経費削減（例：出張旅費ゼロ）
 - ・集中購買による経費の削減（例：安全保護具等）
- ✓ 固定費削減活動
 - ・リユースの徹底及び優先度に基づいた設備投資の見直し
- ✓ ロスコスト活動
 - ・拠点のロス（生産性、品質、設備等）を見える化し低減を促す

ヨロズのものづくりの強み

製品を設計する開発部、新技術・新工法を創造する研究開発部、生産工程と金型・溶接設備を設計する生産技術部、品質を司る品質保証部、金型・設備を製作するヨロズエンジニアリング、全技術部門の強い連携からなるサイマル活動がヨロズのものづくりの強みです。



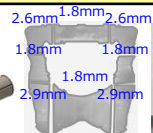
無人化組立てライン



フルカール工法(鋼板のバイズ化)



高強度ハイテン780MPa成形



テーラードブランク工法

ヨロズ部品開発の強み-1

ヨロズのサスペンション部品開発の強みの基盤は、独自のトータルプロダクションシステムです。市場調査に始まり、構想企画、設計、解析、試作、実験までの部品設計全工程を自社で100%完結し、軽く、強く、安く、早く、お客様へ提案。

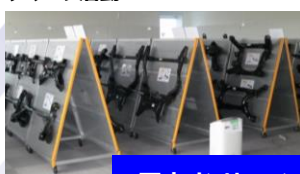
★トータルプロダクションシステム★



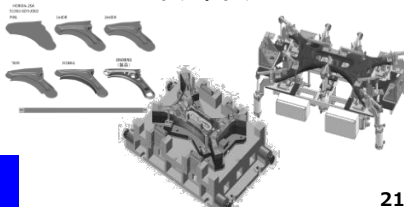
★国内外カーメーカーとの強い信頼関係★



★市場調査ベンチマーク活動★



★100%自社完結開発★

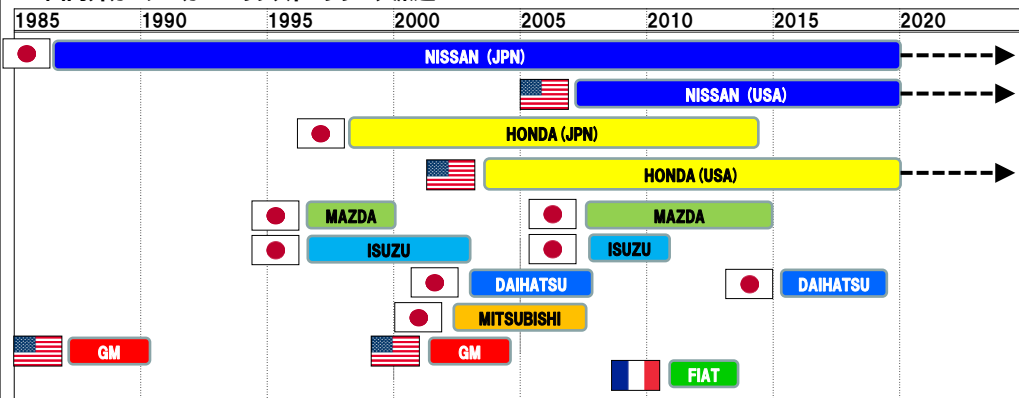


国内オンリーワン

ヨロズ部品開発の強み-2

ヨロズの開発体制は競合他社には無い特徴があります。製品設計を行なうエンジニアが多くのカーメーカーの開発センターへゲストエンジニアとして常駐して、共同開発を行なっています。

★国内外カーメーカーへのゲストエンジニア派遣★



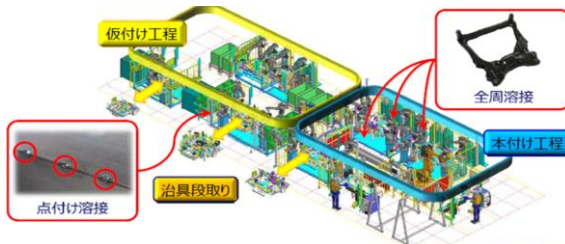
米国テネシーに開発拠点を有しており、日米の時差を有効活用して24時間体制で部品設計と実験を行なっています。国内外カーメーカーからの要求回答へのレスポンスの良さ、開発スピードの速さに高い評価をいただいています。

トピックス 受賞①

2020 NISSAN Global Innovation Award

- ものづくりの革新 - 総仮付け、総本付け溶接ライン
-(グローバル車種適用 世界初)-
- 生産設備投資低減による価格競争力向上

- 生産数、及びモデルチェンジの変更に柔軟な対応が可能
- 試作段階での治具を量産でも使用可能
- 汎用性が高く、リユースなど、さらなる設備投資削減を実現



新ライン「総仮付け・総本付け」



従来ライン「順序溶接」

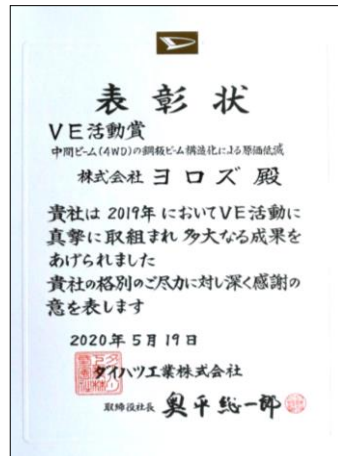


トピックス 受賞②

ダイハツから VE (バリューエンジニアリング) 活動賞 受賞
 新型SUV車に、ヨロズから提案したリア・サスペンションの『構造変更案』が採用され、
 部品コストを55% 低減した貢献により受賞

受賞内容概要

OEM	ダイハツ	
車種	ダイハツ ロッキー	トヨタ ライズ
受賞内容	リア・サスペンション (ビームタイプ) オリジナル断面構造 → ヨロズ提案断面構造 □部を以下の構造に変更提案しコスト競争力を向上	



トピックス 受賞③

日産車体から 開発貢献感謝状 受賞

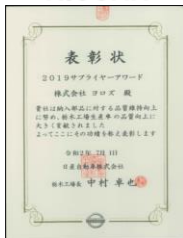
大型SUV車向け、サスペンション・リンク部品を、短期間に『海外生産』から『国内生産』に切替えたことで、自動車メーカーの『物流費』を大幅に削減した貢献により受賞

受賞内容概要

OEM	日産車体		 
車種	インフィニティ QX80	日産 アルマーダ	
受賞内容	サスペンション・リンク	短期間に海外生産から国内生産へ工順変更し、物流費の削減に貢献	

お客様よりいただいた品質賞 (2020年1月~7月)

NISSAN



日産自動車栃木工場より
2019サプライヤーアワード

TOYOTA



トヨタ自動車東日本より
品質感謝状

DAIHATSU



ダイハツ工業より
JDP 2019IQS 受賞記念

HINO



日野自動車より
品質管理優良賞

HINO



日野自動車より
品質賞(YAT)




















GM



ゼネラルモーターズより
サプライヤー品優秀賞 (YTC)

お客様からの受注車種

YOR/ZU






<p>米州</p> <p>日産 ローグ</p>  <p>FR SUSP MEMBER</p>  <p>RR SUSP LWR LINK RR</p>	<p>アメリカ</p> <p>RADIUS ROD</p>  <p>RR SUSP LWR LINK FR</p>  <p>RR SUSP MEMBER</p> 	<p>メキシコ</p> <p>FR SUSP MEMBER</p>  <p>LINK COMPL-RR SUSP LWR,RR</p> 	<p>ホンダ TLX</p>  <p>RR SUBFRAME</p>	<p>日産 セントラ</p> <p>MBR ASSY-RR SUSP</p>  <p>TRANSV LINK</p>  <p>LINK COMPL-RR SUSP LWR,FR</p> 		
<p>アジア</p> <p>日産 キックス</p>  <p>FR SUSP MEMBER</p>	<p>タイ</p> <p>RR SUSP BEAM</p>  <p>TRANSV LINK</p> 	<p>日本</p> <p>日産 ルークス</p>  <p>FR SUSP MEMBER</p>	<p>ダイハツ ロッキー / トヨタ ライズ</p> <p>RR BEAM</p> 	<p>三菱 eKクロス スペース</p> <p>RR SUSP BEAM</p> 	<p>ダイハツ タント</p> <p>RR BEAM</p> 	<p>ホンダ フィット</p> <p>FR SUBFRAME</p> 

© YOROZU CORPORATION 2020 All Rights Reserved.

27

新しい働き方への取り組み

YOR/ZU

働き方	<p>従来働き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ オフィスへ出勤 ✓ 出張（国内・海外） ✓ 対面での会議   	<p>(ヨロズ) 新しい働き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 在宅勤務（CAD操作含め、勤務地に捉われない勤務体制の構築） ✓ リモート立会いによる技術支援 ✓ 働く時間・場所の多様化  
	<p>目標</p> <p>YGTC含む本社機能 在宅勤務率「50%」</p>	<p>期待効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチベーション・生産性の向上・負荷軽減 ・オフィススペース削減（新しいオフィスビル建設取り止め） ・空いたスペースの有効活用（サテライトオフィス化等） ・コロナウイルス感染リスクの低減

© YOROZU CORPORATION. 2020 All Rights Reserved.

28

- I. 2020年度上期業績
- II. 稼働状況及び需要動向
- III. 2020年度通期予想
- IV. 最近の状況
- V. 株主還元

株主還元

●2021年3月期の配当について

2021年3月期の配当につきましては、当期が赤字見通しであることに加え、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況であることから、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。一刻も早く復配できるよう、全社を挙げて収益改善活動に取り組んでまいります。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2020年度上期 YOROZU 決算説明会
ご清聴ありがとうございました

ヨロズ ホームページアドレス
<http://www.yorozu-corp.co.jp>

免責事項と著作権

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さいますようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

●お問合せ

責任者：(株)ヨロズ 取締役副社長執行役員
担当：(株)ヨロズ 財務部 経理グループ 主担

佐草 彰
高橋 剛健

T E L 045-543-6802 F A X 045-543-4915